



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」
 一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



とひの かふち

《学校だより》 第14号

令和2年11月4日発行
 湯河原町立湯河原小学校
 校長 北村和裕

元気で明るい運動会

10月24日(土)は、青空の下運動会が行われました。学校によっては、午前・午後に分け3学年ずつで実施したり、子どもたちだけのいわゆる無観客で行ったりするところもありました。本校は、全学年が一堂に会して、みんなで見合う運動会です。実は、本年度全校の子どもたちが集まったのは、この運動会が初めてです。水曜日の全体練習の時に運動場に集まった子どもたちを見て驚きました。前任校(東台福浦小)が小規模校だったので、約330人の姿に「こんなにたくさんいたんだな」と改めて思いました。保護者の方も3名という人数制限はありましたが、見ていただくことができよかったです。表現・ダンスの時に保護者の方と目が合ったときの子どもたちの表情が印象的でした。照れくさそうな子、うれしそうなお子、恥ずかしそうな子。どの子も今まで練習してきたことを精一杯出し切ることができたように思います。また、保護者の方には見学ゾーンで入れ替わっていただいたり、時間を選んで見に来ていただいたり、密を避けるためにご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

今年は、コロナ対応で午前中開催や種目を減らすなど例年とは違うかたちでの運動会でしたが、スローガンのように「コロナに負けずに、元気で明るい運動会」が実現できたと思います。



リズムにのってげんきよく 1年生



ゆが和らソーラン ～全力で心をついに 6年生

*各学年の表現・ダンスの様子は、学校ブログで配信中です。ぜひご覧ください

よみがえった「心の庭」

正面玄関の横に「心の庭」があります。周りの木々が伸びてしまっておりあまり目立たなかったのですが、整備をしてよみがえりました。

この「心の庭」は、現在の校舎が建てられた昭和51年に、開校百年祭記念として造園されたものです。この庭は、「心」の字を形作っていて、教育の基本は心の教育が主体であることを表しています。大きな心を持つ人間に子等が大きく生長してほしいという願いを込めて、大石を真ん中にして校章を形取り、左右に校歌に歌われている梅の樹を配し、周りに松や榎(ツゲ)を配植して作庭されています。

造園されてから約50年が経とうとしています。当時、造園に関わられた方々の願いを思うと、身が引きしめる思いです。先人の思いや願いを心に刻みながら、大きな心を持つ子どもたちに育つよう日々の教育を進めていきます。



「心の庭」の石碑



昭和51年の「心の庭」



現在の「心の庭」

石碑の裏に記された願い

教育の来し方を想い
 行うべき大木を念して
 心の庭と造り
 子等の日々の心の糧と
 なさんと願う